

国立大学法人  
愛知教育大学

2010年度財務諸表の報告

1



2010年度財務諸表全体の特徴

- 総資産は、減価償却等により2.0億円減少
- 総負債は、資産除去債務の計上等により4.4億円増加
- 経常費用は、人件費の削減及び予算総額の減少等により2.87億円減少
- 経常収益は、運営費交付金が削減されるなか2.18億円増加
- 当期総利益は、3.47億円を計上

2



## 2009年度と2010年度の比較

### ①貸借対照表

<p><b>資産の部</b></p> <p>総資産 491.2億円⇒489.1億円 (-2.0億円)</p> <p>・固定資産 475.6億円⇒473.7億円 (-1.9億円)</p> <p>・流動資産 15.5億円⇒15.4億円 (-0.1億円)</p>	<p><b>負債の部</b></p> <p>総負債 48.8億円 ⇒53.2億円(+4.4億円)</p> <p><b>純資産の部</b></p> <p>純資産 442.4億円⇒435.8億円 (-7.4億円)</p> <p>うち当期未処分利益 2.63億円⇒ 3.47億円 (+0.84億円)</p>
--	--

3



## 2009年度と2010年度の比較

### ②貸借対照表から財産分析

#### 資産除去債務計上による影響額

- 資産(建物)の増加 4.73億円
- 負債(資産除去債務)の増加 5.34億円
- 純資産(損益外利息費用累計額)の減少 0.61億円

**負債の増加は資産除去債務が原因**

#### 減価償却計上による影響額

- 資産の減少 8.67億円
- 純資産(損益外減価償却累計額)の減少 7.07億円

(差額は損益計算書へ)

**資産・純資産の減少は減価償却が原因**

4



## 2009年度と2010年度の比較

### ③損益計算書

#### 経常費用

81.78億円⇒78.91億円  
(-2.87億円)

- ・人件費61.91億円  
⇒60.83億円(-1.08億円)
- ・物件費19.86億円  
⇒18.07億円(-1.79億円)

#### 当期総利益

2.63億円⇒3.47億円

#### 経常収益

80.19億円⇒82.38億円  
(+2.18億円)

- ・運営費交付金収益  
51.79億円⇒51.13億円  
(-0.66億円)
- ・学生納付金収益  
24.94億円⇒26.10億円  
(+1.15億円)
- ・その他収益  
3.45億円⇒5.15億円  
(+1.70億円)

5



## 2009年度と2010年度の比較

### ④損益計算書から人件費分析

人件費 61.91億円(75.7%)⇒60.83億円(77.0%)

- ・役員 1.13億円⇒1.20億円(+0.07億円)
- ・教員 48.04億円⇒46.95億円(-1.09億円)
- ・職員 12.73億円⇒12.68億円(-0.05億円)

**人件費は総額で1.07億円減**

原因:総人件費管理制(ポイント制)等による定数管理  
及び退職手当の減少

但し、人件費比率は増加

- ・目的積立金 4.95億円⇒なし
- ・2011年度以降に学生寮改修のため繰越予定

**予算総額の減少及び計画的執行が原因**

6



## 2009年度と2010年度の比較

### ⑤ 損益計算書から教育研究経費等分析

物件費 19.86億円(24.3%) ⇒ 18.07億円(23.0%)

● A 教育経費 12.49億円(15.2%) ⇒ 10.27億円(13.0%)

● B 研究経費 1.70億円(2.0%) ⇒ 1.64億円(2.0%)

● C 教育研究支援経費(不明図書を除籍による増)  
1.47億円(1.8%) ⇒ 2.56億円(3.2%)

● A+B+C 15.68億円(19.1%) ⇒ 14.48億円(18.3%)

(A+B+C)/学生数:36.7万円 ⇒ 33.8万円

(A+B+C)/教員数:353万円 ⇒ 327万円

人件費と同様に予算総額の減少等による影響

● 一般管理費 3.68億円(4.5%) ⇒ 2.81億円(3.5%)

7



## 2009年度と2010年度の比較

### ⑥ 損益計算書から収益分析

経常収益 80.19億円⇒82.38億円(+2.18億円)

● 運営費交付金収益

51.79億円(64.5%)⇒51.13億円(62.6%)(-0.66億円)

● 授業料収益 20.80億円⇒21.81億円(+1.00億円)

● 入学金収益 3.34億円⇒ 3.42億円(+0.08億円)

● 検定料収益 0.80億円⇒ 0.87億円(+0.06億円)

● その他収益 3.45億円⇒ 5.15億円(+1.70億円)

運営費交付金収益の減少をそれ以外で補った

但し、資産購入が少ない(消耗品等の購入が多い)と

収益額は増加することに注意(国立大学特有の処理)。

8



## 2009年度と2010年度の比較

### ⑦ キャッシュフロー計算書：現金収支

- 業務活動CF(当期の業務活動の収支差)  
1.35億円⇒6.21億円…(1)
- 投資活動CF -0.40億円⇒-0.75億円…(2)
- 財務活動CF -0.69億円⇒-0.69億円…(3)
- 当期の業務活動と投資・財務活動の収支差  
(FCF) (1)+(2)+(3):0.24億円⇒4.75億円
- 資金期末残高は、14.48億円を計上  
原材料等の購入による支出が減少したこと  
により現金が増加

9



## 2009年度と2010年度の比較

### ⑧ 業務実施コスト：国民負担額

- 損益計算書上の費用(81.78⇒78.91億円)から大学の自己収入の一部(授業料、入学料等27.03⇒28.80億円)を控除した額(54.75⇒50.10億円)に、損益処理されていない減価償却費等(3.89⇒7.65億円)や機会費用(国立大学法人が法人化時に政府より出資を受けた金額等を仮定計算した金額6.05⇒5.38億円)を加えた金額であり、最終的な国民負担額
- 国立大学法人業務実施コスト64.69⇒63.14億円)  
⇒学生一人当たり約147万円の負担  
⇒国民一人当たり約50円の負担(1億2,700万人と仮定)

10



## 2010年度決算報告書

### 収入の部

- 収入予算

79.43億円⇒決算 81.86億円 (+2.43億円)

- ① 補助金等収入 0.55億円(+0.55億円)  
設備整備費補助金の採択による
- ② 授業料等自己収入 26.53億円(+0.91億円)  
主に学生数の増加等による
- ③ 受託研究・寄附金等 1.57億円(+0.79億円)  
主に受託事業の採択増加による

11



## 2010年度決算報告書

### 支出の部

- 支出予算

79.43億円⇒決算 78.02億円(-1.41億円)

- ① 業務費(人件費含む)61.34億円(-2.31億円)
- ② 一般管理費 14.16億円(-0.49億円)  
人件費の削減及び計画的執行(経費の節減)による
- ③ 施設整備費 0.36億円(+0.01億円)
- ④ 補助金等 0.55億円(+0.55億円)
- ⑤ 受託研究・寄附金等 1.61億円(+0.83億円)

- 収入-支出=3.84億円

(09年度 2.02億円, 08年度4.06億円)

12



## 2010年度財務諸表のまとめ

- 大規模な固定資産等の購入実績はなく、減価償却が進む
- 人件費の削減・予算の計画的執行等により支出の削減に努める
- 運営費交付金収益の減少をそれ以外の収益で補う
- その結果、当期総利益は3.47(09は2.63)億円を計上した(当期純利益3.47(09は0.96)億円)